

# 日本地衣学会 No.175 ニュースレター

Newsletter from the Japanese Society for Lichenology

## 目次

会務報告	693
日本地衣学会評議員会（メール会議：2024年1月29日～2月16日）	
議事録／坂田 歩美	693
日本地衣学会評議員会（メール会議：2024年2月28日～3月1日）	
議事録／坂田 歩美	694
会員通信	695
海岸に出現するエヒラゴケの仲間／田中 慶太	695

## 会務報告 *Reports of the JSL Activities*

### 日本地衣学会評議員会（メール会議：2024年1月29日～2月16日）議事録

*Report of the JSL Councilors' Meeting on E-mail, 29 Jan. – 16 Feb. 2024 / by SAKATA Ayumi*

>>>>>>> 坂田 歩美：庶務幹事

開会期間：2024（令和6）年1月29日（月）～2月16日（金）

参加者（敬称略）：（議長）坂東誠，（評議員）甲斐久博，河崎衣美，木下靖浩，小峰正史，清水公德，中庵裕之，（会長）木下薫，（幹事）坂田歩美，小杉真貴子，（編集委員長）綿貫攻

\* \* \*

今年度の大会・観察会・定例評議員会・総会の開催および内規・会則の改正に関して、評議員会で審議が行われました。

議題は以下のとおりでした。

議題1) 今年度の大会および観察会について

議題2) 今年度の定例評議員会および総会について

議題3) 「大会運営についての内規」の改正について

議題4) 「日本地衣学会会則」の改正について

各議題の審議結果は以下のとおりでした。

議題1) 今年度の大会および観察会について

今年度の大会（第23回大会）は2024年11月9日（土）・10日（日）に小杉真貴子氏を準備・実行委員長として基礎生物学研究所（岡崎市）で開催し、観察会を大会2日目午後岡崎公園（岡崎城）付近などで実施することが承認されました。

議題2) 今年度の定例評議員会および総会について

今年度の定例評議員会および総会は2024年7月13日(土)にオンライン開催し、総会の直前や直後に、大会と観察会の紹介を行うことが承認されました。また、今年度の総会においては委任状の導入を見送ることが承認されました。

議題3) 「大会運営についての内規」の改正について

定例評議員会および総会を大会と別日程で行えるように、「大会運営についての内規」を以下のとおり改正することが承認されました。

【改正内容】

1. (3)を以下のように改正(下線部を追記)  
(3)大会は、定例評議員会、総会、懇親会、研究発表会で構成される。ただし、シンポジウム、ワークショップ、講演会、観察会、研修会、同定会などを含めてもよい。ただし、他学会との合同大会を開催する場合はこの限りではない。また、定例評議員会、総会は別日程で開催することもできる。
2. 附則に以下の内容を追記  
2024年2月16日 第3条改正

議題4) 「日本地衣学会会則」の改正について

ゆうちょ銀行名義変更手続きのために2023年11月4日に行った「日本地衣学会会則」の改正が承認されました。

【改正内容】

1. 第18条に以下の内容を追記  
・本会の所在地  
〒260-8682  
千葉県千葉市中央区青葉町955-2  
千葉県立中央博物館 生態学・環境研究科
2. 附則に以下の内容を追記  
2023年11月4日第18条改正

注釈1) 以上4議題の審議結果における各承認は、いずれも議決権を有する審議参加者8名(議長・評議員・会長)全員の賛成・同意を以ってなされました。

注釈2) 議題1の審議結果の承認内容については後に一部が変更されました(ニュースレターNo.175記載の会務報告「日本地衣学会評議員会(メール会議:2024年2月28日~3月1日)議事録」を参照)。

## 日本地衣学会評議員会(メール会議:2024年2月28日~3月1日)議事録

Report of the JSL Councilors' Meeting on E-mail, 28 Feb. - 1 Mar. 2024 / by SAKATA Ayumi

>>>>>>> 坂田 歩美: 庶務幹事

開会期間:2024(令和6)年2月28日(水)~3月1日(金)

参加者(敬称略):(議長)坂東誠,(評議員)甲斐久博,河崎衣美,木下靖浩,小峰正史,清水公徳,中嶋裕之,(会長)木下薫,(幹事)坂田歩美,小杉真貴子,(編集委員長)綿貫攻

\* \* \*

今年度の大会および観察会の日程変更について、審議が行われました。審議の結果、第23回大会の開催を2024年11月9日(土)・10日(日)から11月16日(土)・17日(日)に変更し、観察会の実施を11月10日(日)午後から11月17日(日)午後に変更することが、議決権を有する審議参加者8名(議長・評議員・会長)全員の賛成・同意を以って承

認められました。

## 会員通信 From Members

---

### 海岸に出現するエビラゴケの仲間

*Lobaria sp. Growing on Seaside Rocks / by TANAKA Keita*

>>>>>>>> 田中 慶太：西海市立西海中学校

私は、長崎県内の地衣フロアの解明を目的として、県内各地で観察を続けています。その中で変わった生育地をもつエビラゴケの仲間（図1）を紹介します。長崎県内ではエビラゴケの仲間は多くなく、普通は海から離れたような場所の樹皮上や岩石上に出現します。成分分析は行っていないので、種の同定はできており

ません。ただ、長崎県の離島である対馬には、海岸の岩石上に出現する場所があり、生育環境が他の県内のエビラゴケの仲間とかなり異なります。上島と下島に挟まれた対馬中央部の浅茅(あそう)湾といわれるリアス式海岸で比較的波の穏やかな場所で、木々が海岸まで生い茂っています。



図1. エビラゴケ sp..

---

## ◆原稿募集

本誌は、会員からの原稿を随時募集しています。地衣類にまつわるエピソード、思い出、あるいは地衣類に関する写真とタイトル、簡単な説明文だけでも受け付けます。電子メールにて次のアドレス宛に投稿御願います：  
bandomakoto@aa6.mopera.ne.jp（坂東 誠）

## ●複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外、図書館も著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体からの許諾を受けてください。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接本会へご連絡ください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル 学術著作権協会。

Tel: 03-3475-5618. Fax: 03-3475-5619.

E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

アメリカ合衆国における複写については、次に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc. 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA.  
Phone: (978) 750-8400. Fax: (978) 750-4744

## ●Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for copyright for clearance by the Japanese Society for Lichenology.

Except in the U.S.A.: Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC).

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan. Tel: 81-3-3475-5618. Fax: 81-3-3475-5619.  
E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

In the U.S.A.: Copyright Clearance Center, Inc. 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA. Phone: (978) 750-8400. Fax: (978) 750-4744.

● *Newsletter from the Japanese Society for Lichenology*, no. 175, pp. 693-696: eds. Bando M., Kawasaki E., Tanaka K., published by *the Japanese Society for Lichenology*, 21 Mar. 2024.

---

日本地衣学会ニュースレター175号

発行日：2024年3月21日

編集：坂東誠・河崎衣美・田中慶太

発行者・発行所：日本地衣学会

〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2

千葉県立中央博物館内

---

---

©2024日本地衣学会 (© 2024 The Japanese Society for Lichenology)

本誌記事の著作権は日本地衣学会に属します。無断転載・無断複写等は固くお断りいたします。